

## 第3次プランの体系（案）の概要について

資料①

### 第2次プランからの変更点の概要

#### (1) 【基本目標】の改正

##### 2次プラン【基本目標】

①一人ひとりの人権を尊重し合える人づくり
②男女があらゆる分野に平等に参画するためのしくみづくり
③男女共同参画を支える社会づくり
④町民と行政のパートナーシップによる男女共同参画のまちづくり

##### 3次プラン【基本目標】(案) 新プランの体系は基本目標を簡単でわかりやすくするため、下記4項目に分類した。

①人権を尊重し合える意識づくり	⇒ 意識の啓発と調査研究の推進
②安心して働き暮らせる環境づくり	⇒ 仕事と生活の調和の推進
③男女ともに活躍できるまちづくり	⇒ 行政の取組と関係機関との協同推進
④暴力を許さない社会づくり	⇒ あらゆる暴力根絶と支援体制の確立（含【DV対策基本計画】）

#### (2) <基本課題>・[施策の方向]・『具体的施策』の組み替え等

【基本目標】の新分類によって組み替えるとともに、新規項目の追加を行った。（体系案の着色部分）

※なお、各施策の新旧体系表での相互の移行経緯がわかるよう、施策の方向番号（通し番号）にて明示しています。

また、新施策は下記のとおりで具体的施策に（新）と明示しています。

##### ①-2 [施策の方向] 2 男女共同参画に関する調査・研究の推進

『具体的施策』 男女共同参画セミナーの開催（新）

##### ②-3 [施策の方向] 7 女性のチャレンジ支援（エンパワーメント支援）

『具体的施策』 女性のチャレンジに関する情報提供と支援（新）

##### ②-4 [施策の方向] 11 家庭状況に応じた自立支援

『具体的施策』 外国人に対する支援（新）

##### ②-5 [施策の方向] 12 性と生殖に関する健康・権利（リプロダクティブヘルス／ライツ）（※1）に関する意識の普及と支援体制の充実（表現の変更）

『具体的施策』 性と生殖に関する健康・権利（リプロダクティブヘルス／ライツ）に関する意識の普及（表現の変更）

『具体的施策』 性的マイノリティ（※2）への理解促進（新）

##### ④-6 [施策の方向] 16 虐待の防止に向けた対策の推進

『具体的施策』 児童虐待の防止と支援体制の構築（新）

高齢者虐待の防止と支援体制の構築（新）

障がいのある人への虐待の防止と支援体制の構築（新）

##### ④-7 [施策の方向] 17 ストーカー行為、性犯罪、売買春等防止対策の推進

『具体的施策』 被害者の支援体制の構築（新）

##### ③-9 [施策の方向] 20 庁内の男女共同参画の推進

『具体的施策』 職員の仕事と子育ての両立支援（新）

##### ③-9 [施策の方向] 21 防災・復興への取り組みにおける男女共同参画の推進

『具体的施策』 男女共同参画の視点を反映した地域防災計画の改正（新）

防災・復興への取り組みにおける女性の参画の推進（新）

##### ③-9 [施策の方向] 21 ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりの推進

『具体的施策』 新庁舎を含めた町内公共施設のバリアフリー化（新）

##### ④配偶者等からのあらゆる暴力の根絶 【DV対策基本計画】（新）

※1 性と生殖の健康（リプロダクティブ・ヘルス）とは、平成6年（1994年）の国際人口／開発会議の「行動計画」及び平成7年（1995年）の第4回世界女性会議の「北京宣言及び行動綱領」において、「人間の生殖システム、その機能と（活動）過程のすべての側面において、単に疾病、障害がないというばかりでなく、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあることを指す」とされている。性と生殖の権利（リプロダクティブ・ライツ）とは、「性と生殖の健康（リプロダクティブ・ヘルス）を得る権利」とされている。

※2 性的マイノリティとは、性のあり方が、社会的にマイノリティ（少数者）であることにより、さまざまな不利益を被っている人々。身体的な性（性染色体・生殖腺・生殖器によって決まる性）、性自認（自分を男性あるいは女性であると思うか、そのどちらでもないと思うかなど）、性指向（性愛の対象が女性に向かうか男性に向かうか、両性に向かうかなど）により、人それぞれに異なります。